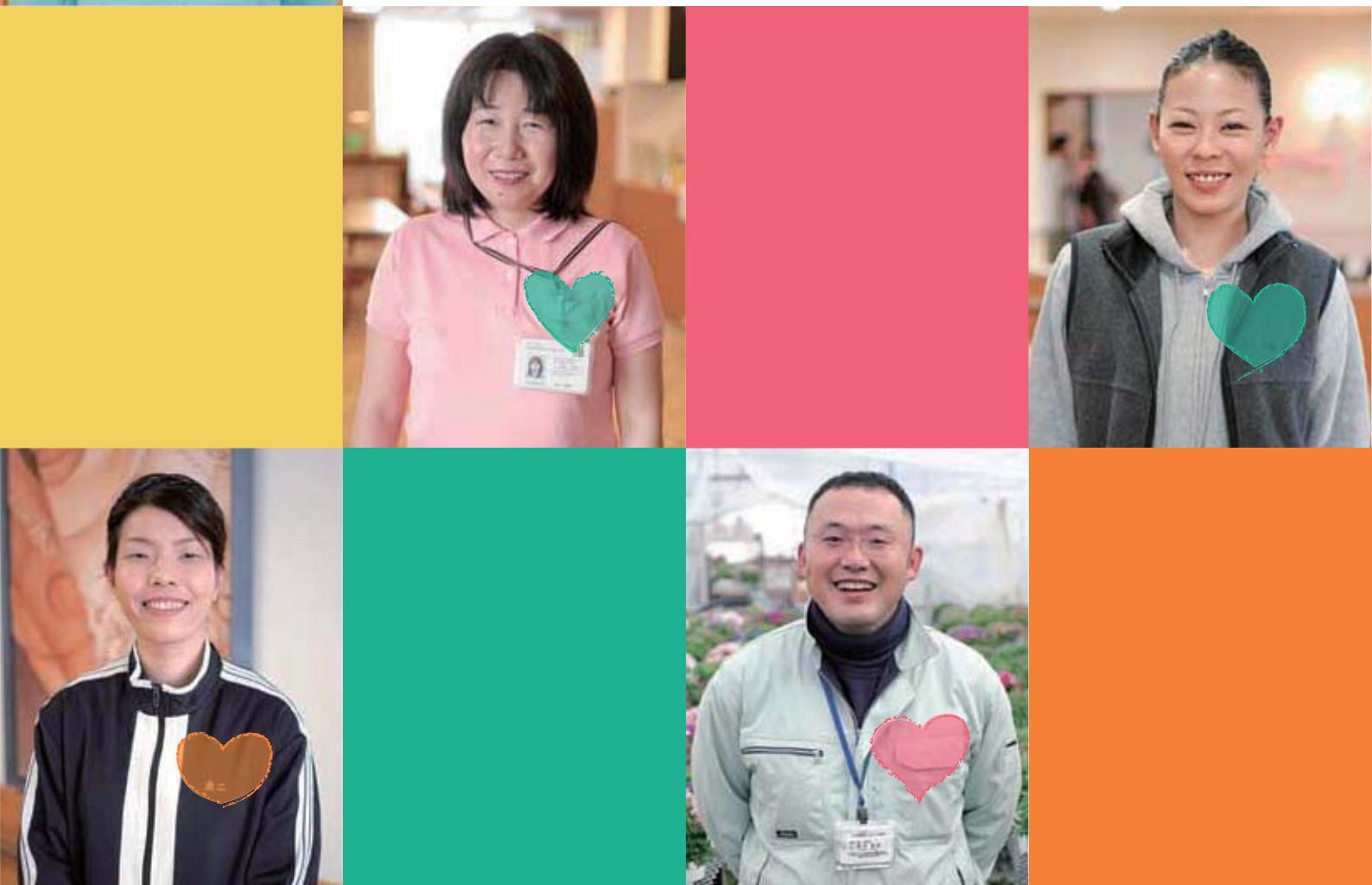




# 未来をめざす 福祉の挑戦者

〔福祉の仕事 とやま就職ガイド〕



社会福祉法人 富山県社会福祉協議会  
**富山県健康・福祉人材センター**



# はじめに

人はだれもがその人らしく生活するために、  
家族や友人、会社や学校、病院やお店など・・・  
その人を取り巻く環境の中でお互いに関わり合っています。  
そんななじみのある生活の中に「福祉」が存在しています。

「福祉とは何だろう」

「福祉の仕事って何だろう・・・」

「どんな職場があってどんな人が働いているのだろう・・・」

福祉の仕事に関心があるあなた、福祉の仕事に就きたいと思っているあなたに  
現場の職員からのメッセージ、福祉の仕事の魅力ややりがい、  
就職活動の仕方について紹介します。

# 福祉とは？

だれもがその人らしく幸せに生きること

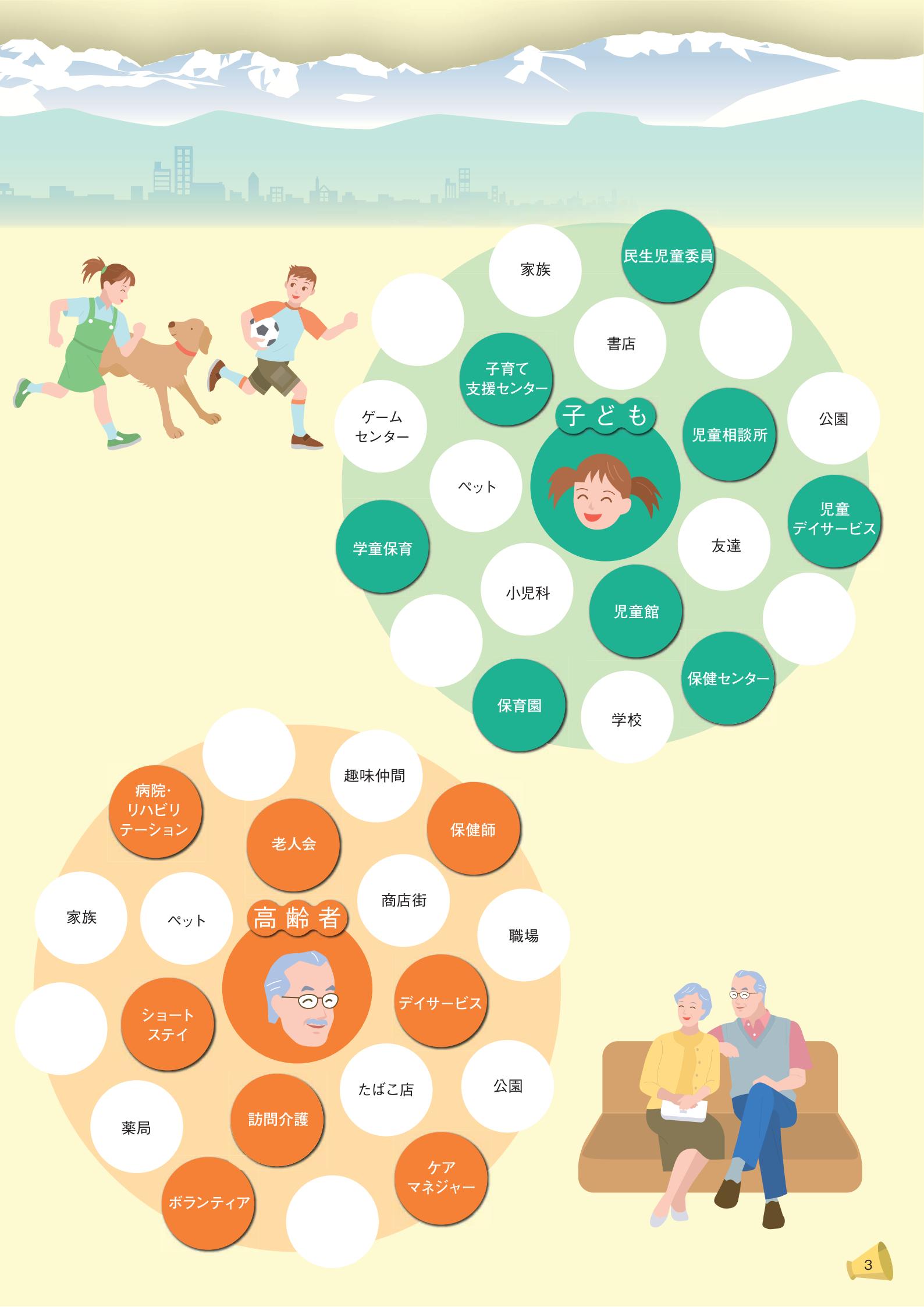
「周りの人から愛され、楽しい一日でありたい」

「自分で身の回りのことができなくとも、自分で外出できなくとも、  
自分で選択したり判断したりできなくとも、自分らしい生活を送りたい」

「これまで自分でできていたことも、体が弱くなって難しくなってきたけれど、  
いつまでも心豊かに人生を過ごしたい」

「子育てや介護、生活に不安になった時に相談したい」

そんな願いを支えることが福祉の役割です。



# 福祉の仕事とは？

人は生活を送っていく中で、色々な生活環境の変化に出会います。そして、その状況に応じて、福祉サービスを利用する事ができます。福祉のサービスを提供する施設や機関は数多く、そこで働く職種も様々です。ここでは、地域にある「福祉の仕事」についてその一部を紹介します。

## 子どもに 関わる 仕事

- 福祉の施設・サービス 福祉の職種・資格
- 保育所 ●保育士
  - 児童養護施設 ●児童指導員
  - 児童館 …など
  - 学童保育
  - …など

## 障がいのある子どもに 関わる 仕事

- 福祉の施設・サービス 福祉の職種・資格
- 障がい児施設 ●保育士
  - 児童デイサービス ●児童指導員
  - …など

## 障がいのある大人に 関わる仕事

- 福祉の施設・サービス 福祉の職種・資格
- 生活介護事業所 ●生活支援員
  - 就労移行支援事業所 ●作業指導員
  - 就労継続支援事業所
  - 地域活動支援センター
  - …など

## 医療に 関わる 仕事

- 福祉の施設・サービス 福祉の職種・資格
- 病院 ●看護師
  - クリニック ●医療ソーシャルワーカー
  - …など

さらに詳しく知りたい方は

「福祉のお仕事アクセスガイド」(全国社会福祉協議会  
中央福祉人材センター発行) を参照してください。



次のページからは、  
“福祉の現場”というフィールドに立って  
活躍している職員のみなさんを紹介します!

## 医療が必要な高齢者に 関わる仕事

### 福祉の施設・サービス

- 老人保健施設
- 介護療養型医療施設
- …など

### 福祉の職種・資格

- 介護職員
- 看護師
- …など

## 高齢者に関わる 仕事

### 福祉の施設・サービス

- 特別養護老人ホーム
- 認知症対応型共同生活介護  
(グループホーム)
- 通所介護（デイサービス）
- …など

### 福祉の職種・資格

- 介護職員
- 介護支援専門員
- …など

## 相談・援助・調整に 関わる仕事

### 福祉の施設・サービス

- 社会福祉協議会
- 児童相談所
- 社会福祉事務所
- 保健所
- …など

### 福祉の職種・資格

- 社会福祉協議会職員
- ソーシャルワーカー
- …など

## 高齢者福祉

通所介護（富山型デイサービス）

**河邊 恵美さん**  
〔介護福祉士・保育士〕

→P6~7

## 児童福祉

保育所

**古俣 浩太郎さん**  
〔保育士〕

→P8~9

## 高齢者福祉

共同生活介護・認知症対応型共同生活介護  
(富山型共生グループホーム)

**松井 加奈子さん**  
〔ヘルパー2級〕

→P10~11

## 障害者福祉

多機能型事業所  
(就労継続支援B型・生活介護)

**般若 敏雄さん**  
〔介護福祉士〕

→P12~13

## 高齢者福祉

認知症対応型通所介護（デイサービス）

**荒山 浩子さん**  
〔社会福祉士・介護福祉士〕

→P14~15

## 高齢者福祉

老人保健施設

**金田 歩さん**  
〔准看護師〕

→P16~17

## 高齢者福祉

特別養護老人ホーム

**政二 恵子さん**  
〔社会福祉主事・介護福祉士〕

→P18~19

# 一つ屋根の下で高齢者から乳幼児までの見守り。 みんなの笑顔から元気が生まれます。



## きっかけは看護のお手伝い

幼い頃から保育園の先生に憧れ、高岡市内の専門学校で学び、保育士の資格を取得したという河邊恵美さん。卒業後、5年ほど保育園に勤め、結婚・出産のため退職。その後、病院併設の保育園で看護



子育て支援センターで子どもと一緒に遊ぶ

師の子どもたちを預かり、夜勤も経験しました。そのときに高齢者や入院患者に接したことが、河邊さんの人生を大きく変えることになります。

「人手不足で看護師の手伝いをすることになり、病室の掃除や高齢者のお世話に関わりました。“ありがとう”的言葉と笑顔に胸が熱くなり、この経験が介護に興味を持つきっかけになりました。」

## わくわく小矢部との出会い

当時、小矢部市内で日中勤務できる保育士の仕事がなかなか見つからず、早く正社員として就職し直したいと思っていた河邊さんにとって、介護の仕事は魅力的なものに映りました。まず、ヘルパー2級の資格

を取得し、介護分野での就職に備えます。その後、ハローワークで「わくわく小矢部」を紹介されて面接へ。介護と保育に携われる、やりがいのある職場だと感じました。「わくわく小矢部」は高齢者から乳幼児、障がい者（児）まで一緒に預かる“富山型”と呼ばれるデイサービスを小矢部市内で初めて取り入れた施設。加藤理事長は、保育の経験を持つ河邊さんに“富山型”的即戦力をとして大きく期待し、正社員として採用することを決めました。

## 富山型デイで働くこと

「保育と介護、子どもと高齢者の違いはありますかが、同じ人間として、誠実にお世話することに違いはありません。異世代が一



唱歌をみんなで楽しく合唱

緒に過ごす空間で、日々とても楽しく、働いています。乳幼児の笑顔が高齢者を元気にしますし、私も高齢者から優しく見守られ、教えられることもたくさんあります。

介護の世界に入って約5年、介護主任として毎日頑張る河邊さん。明るく、笑顔で話しますが、働き始めた頃は利用者さんからの思いがけない行動や言葉が理解できず、辛い経験もしました。子どもは不安定になった時にはやさしく抱きしめることで安定することもありますが、大人に対してはそれだけでは解決することはできません。特に精神的な障がいを抱えていると、本人自身が落ち込んでしまうこともあり、日ごとに表情や行動が違ってきます。どのように接すればいいか不安に思う日もありました。

「職員会議で、利用者さん一人ひとりの接し方に先輩から知恵をもらったり、認知症などについて勉強しました。また、障がいを持つ子どもたちを理解するために、特別支援学校の先生方から専門的な分野も



高齢者をしっかりサポート

学びました。経験を重ねていくうちに不安もなくなり、余裕を持って介護できるようになりました。」

## 職場を活用して子育てと両立

「働き始めた頃、子どもはまだ小学1年と保育所の年少組で、一番手のかかる時期でした。カギっ子にしていいの?といった心の葛藤もありましたが、これまで仕事を頑張ってこられたのは、育児に対する職場の理解が大きかったからです。実際、子どもの体調が悪い時や、土曜・祝日に2人を連れてくることができて大変助かりました。」

「夫婦共働きの核家族なので、子どもたちはここでおじいちゃん、おばあちゃんに囲まれて、のびのびと過ごしてきました。性格も穏やかに育っています。子どもの笑顔が利用者さんの笑顔につながっている面もあると思います。」

## 資格取得をバックアップ

河邊さんの目指す職員像は、加藤理事長。地域や住民の生活を見渡しながらの施設運営をはじめ、利用者さん、職員への気配り、温かな配慮も欠かしません。福

## 施設管理者から



NPO法人 わくわく小矢部  
理事長  
**加藤 邦子さん**

高齢者、障がい者、子どもたちが同じ屋根の下で過ごせる場で、触れ合い、助け合いながら、「わくわく」した時間や生活を送ってほしいと、平成16年春に富山型デイサービスの施設を開設しました。地域の方々が気軽に立ち寄れる地域開放スペースとして、ミニギャラリーや談話室も設けています。施設利用者が地域の方々と交流することで、生きがいの創出につながることを目指しています。ミニギャラリーでは日展作



地域との交流の場となっているミニギャラリー

祉に対して熱い思いがあり、人材育成にも積極的です。

「希望すれば外部の研修にどんどん出していただけます。その日は出勤扱いとなりますし、資格試験のための費用も援助してくださいます。私が介護福祉士の試験を1回で合格できたのも施設のバックアップ体制がしっかりしていたからです。介護の仕事は、年齢に関係ありません。自分の親を面倒みてあげたいとか、何かのきっかけで興味を持たれたら、ぜひ飛び込んでみてください。他の業種にいらっしゃる方でも、チャレンジしたいと思うときにやってみる価値のある仕事。本当にやりがいがあります。次の目標である認定介護福祉士を目指して頑張っていきたいです。」

家の方々などに協力いただいて、日本画や水墨画、書、工芸などの作品を1ヶ月交替で展示しています。気軽にコーヒーも楽しめます。昨年には子育て支援センターも開設し、高齢者との交流とともに、絵本の読み聞かせ、工作、ゲームなども行っています。

求める人材として、明るくて、意欲のある人、何事にも積極的に取り組んでいける人。自分自身を高めよう、学ぼうとする気持ちさえあれば、技術は後からついてきます。採用時にヘルパーの免許しか持っていないなくても、意欲があれば、介護福祉士などの免許も取得してもらいたいと思います。また、いろんな研修に参加し、自己啓発していってほしいですね。

**特定非営利活動法人  
民営デイケアハウス わくわく小矢部**  
〒932-0044 小矢部市新富町4-1

- 富山型デイサービス
  - 通所介護
  - 居宅介護支援
  - 児童デイサービス
  - 在宅障がい者デイケア
  - 乳幼児・児童の一時預かり
  - 地域福祉活動・福祉相談
- <施設内>
- ミニギャラリー、談話室
  - さんさん広場、子育て支援センター
  - 高齢者向けの介護予防教室（健康ヨガ）
  - 絵手紙教室



昨日できなかったことが、今日はできた。  
成長する子どもの姿に涙ぐむこともあります。



### 男性保育士と意識することもない

「父が“高い、高い”をしてくれたり、足の裏に身体をのせて飛行機のまねをしてくれたり。子どもの頃、父、弟、妹とのじゃれつき



楽しいお絵かきも笑顔で

遊びが楽しくて、僕も子どもたちにしてあげられたらと思ったのが保育士を目指すきっかけでした」

短大の幼児教育学科で学び、保育士と幼稚園教諭二種免許を取得。中加積保育園の保育士になって9年目です。「現在、女性保育士とともに3歳児、39名を受け持っています。園内20数名の保育士のうち、男性保育士は3名。父親、母親が協力して子育てる家庭のように、男性保育士、女性保育士が役割を分担して子どもたちを保育しています。“高い、高い”といったダイナミックな遊びや身体を使った遊びは男性保育士の役割が大きいです。」

「ただ、男性だから、女性だからと強く意識はしていません。子どもを注意するときも男

性から厳しく言うのがいいというものではありません。お絵かき、ブロック遊び、絵本の読み聞かせなど、保育士それぞれの特徴を出せればいいと思いますが、それには準備が必要です。思いつきで保育してはいけないと先輩からアドバイスされています。」

### ほめることを大切に

3歳児はまわりと色々な関わりができるようになり、友達と言い合いながらもコミュニケーションを取ろうとする時期。自己主張が強い反面、友達と仲良く遊べるようになります。また、基本的な生活リズムや生活習慣も身についてくる時期で、お弁当を片づけ、しっかりと歯磨き。手洗いができたり、服をたたんだり、着替えができるようにな

ったりと、子どもは日々成長していきます。

「昨日できなかったことが今日できた子を見ると、うれしくて。できるとうへんとほめてあげます。この仕事の魅力は、一人ひとりの成長を間近で実感できること。だから8年間続けてこられました。子どもの笑顔を見ていると、僕も元気になります。仕事のやりがいにつながっています。泣いたり、笑ったり、子どもは感情表現が豊かで、こちらも子どものような気持ちに。こんなに涙もろかったかなと自分自身思うことがよくあります。」

## 保護者とともに

仕事のやりがいを感じる一方、古俣さんは、保育士が命を預かる仕事だということ、保護者と信頼関係を築くことの大変さを痛感しています。

「子どもは、急に走り出したり、高いところから飛び降りたり。突発的で思いがけない行動を取ることがあります。ケガをしないように細心の注意を払っています。ただ、擦りむいたりとか、おでこをぶつけたりとか、遊びの中でのちょっとしたケガはあります。そのことを連絡帳に書いたり、お母さんに直接話します。保護者のなかには、思っていることはっきりと言われない方もいます。そんな気持ちを察することに難しさも感じますが、子どもの健やかな成長を願う気持ちは保護者も保育士も一緒。園内での様子や成長したところを細かく話しています。」

中加積保育園では、障がいを持つ子どもも受け入れています。古俣さんもこれまで何人かの担任になってきました。

「障がいを持つ子どもは集団での生活が難しいところがあります。僕自身、リハビリセンターで話を聞いたり、他の先生にサポートしてもらったりしながら、障がい児保育を経験しました。保育園の生活リズムだけに合わせるのでなく、その子の気持ちを一番に尊重して、子どもを中心に過ごし方を考え



職員同士お互いにアドバイス



パーティごっこで「ウサギさん、おいしいですか？」

ないと、駄目なところばかりに目が行きがちです。目標や目線を変えることで、“こんなところに成長が見られます”と連絡帳に書いたり、悪いことも良いことも含めてすべて話すと、保護者の方も安心されることが多いようです。」

## 2児の父となって

趣味はよさこい踊りと、絵を描くこと。よさこいチームに所属し、毎週2回、練習に汗を流して気分転換を図っています。保育士になり、子どもたちから影響されて踊ることが好きになりました。

「子どもたちは上手だろうが、下手だろうが、とにかく本能的に踊ることに楽しみを感じます。動物、車と、絵を描くことも楽しいですね。子どもたちと関わるなかで、僕自身の感性も磨かれてきました。」

「自分は今、1歳半の男の子と2ヶ月の女の子の父親です。親となって初めて子育ての難しさや保護者の気持ちがよりわかるようになりました。たとえば、子どもが寝付かず、朝起きられないことや、時間内に食事ができないことなどです。」

「基本的な生活習慣の大切さを保護者に言っておきながら、いざ自分の子どもになると、甘やかしたりして、うまくいかないもどかしさを感じます。きつく言うこともあります。目標は、園児一人ひとりの個性を伸ばすこと、保護者からもっと頼られる先生になること。自分自身、子育ての楽しさ、難しさを感じています。そんなことを保護者の皆さんと話し合い、より深くコミュニケーションを取っていきたいと思います。」



元気に体操、1・2の3！

## 施設管理者から



社会福祉法人 毅行福祉会  
中加積保育園  
園長  
**柳溪 晓秀さん**

子どもたちが心身ともに健やかに育つには、一人ひとりに応じた適度な困難とハードル、集団・同じ年代のなかでの競い合いが必要です。子どもたちには、楽しみの前に困難があることを肌で感じ取ってほしいですね。そういったことを踏まえて、求める人材は、“一生懸命に汗をかくことが好きな人”。元気に動きまわる子どもたちについている人です。保育士が動けば、子どもたちの育ちもよくなります。最近の遊びは人ではなくて、モノで遊ぶことが多くなっています。人と関わ

る遊びをさせるためにも汗を流してくれる先生の力が必要です。一生懸命に遊び、最後まで関わってくれるか子どもたちは見えています。男性保育士は保護者に好感を持たれます。挨拶も元気があっていいし、安心して子どもを預けられるからでしょう。

職員には男女問わず世帯主手当などを支給し、家庭を持つ職員が定着できるように支援しています。

当園では10年以上前から食育に取り組み、田植えや稻刈り、野菜の栽培などを園児に体験してもらっていました。今後は、園内の個人プランターで野菜を育てもらい、その成長を一人ひとりが観察するような仕組みを考えていきたいと思います。

**社会福祉法人  
毅行福祉会 中加積保育園**

〒936-0854 滑川市小林69

<特別保育>

延長保育、休日保育、一時保育、障害児保育、病児・病後児保育、子育て支援、学童保育



いつまでもいきいきと健康で、美しく。  
そんな思いに応えて、髪の手入れや化粧を。



朝日町ののどかな田園地帯。松井加奈子さんの毎日は、就労支援に向かう知的障がいの利用者さんの送迎から始まります。

富山型「共生の里あさひ」は、平成23年12月に開所したばかり。知的障がい者が入所する「ケアホームマーヤの家」、認知症の高齢者向け施設「グループホーム大樹」、認知症の通所施設「デイサービスまめなけ」の3施設を同じ敷地内で運営しています。松井さんは、「共生の里あさひ」開設当初から「マーヤの家」で生活支援員として働いています。

#### 美容師から介護職員へ

松井さんはそれまで、平成21年に開設された同法人の「富山型共生グループホー

ム双葉」で認知症高齢者の介護を2年間担当してきました。「双葉」は、認知症高齢者と知的障がい者が一緒に生活する県内初の富山型共生グループホームで、全国的にも注目されている施設です。

「双葉」には、認知症の母親と知的障がい者の息子という親子の利用者さんも安心して暮らしています。

松井さんは美容師の免許を持っているので、利用者さんの髪の毛をカットしたり、レクリエーションやお出かけの時には化粧をしてあげたりしています。

「認知症であってもいつまでもきれいでいたい」という気持ちは変わりません。化粧をするだけでも気分は全然違ってきます。自分の顔を鏡で見て喜び、笑顔が増え、いき

いきとした表情になります。そんな姿を見ているとこちらもうれしくなり、利用者さんの個



髪の毛のお手入れはみんな笑顔で

性を引き出そうとメイクする手にも力が入るんですよ。」

実は、松井さんは美容師養成の専門学校を卒業後、美容院に勤務し、腕を磨きました。結婚・出産後は家事や育児もあって、仕事との両立は難しく、美容師の仕事を辞めざるを得ませんでした。

子どもが大きくなるにつれて時間にゆとりもでき、「何かほかにやりがいのある仕事に就きたい」、「人の役に立てる仕事がしたい」と思っていた矢先に、縁あって社会福祉法人にいかわ苑から福祉の仕事に誘われました。

「明るくて、元気もある。美容師として働いてきたから、接客のマナーもいいし、人当たりもいい。介護の資格は何も持っていないかったけれど、彼女だったら、この仕事ができると採用しました。」と、事業所の代表者は当時を振り返ります。

## 介護と支援の違いに戸惑いも

そして、2年後。こだわりのない、さっぱりとした性格とこれまでの仕事ぶりを見込まれ、松井さんはマーヤの家の生活支援員に抜擢されました。

マーヤの家の利用者さんには、重度の障がいを持つ方もいます。病院への付き添い、家族への連絡・対応、作業所への送迎などで、松井さんの1日はあっという間に過ぎていきます。

マーヤの家では生活支援が中心。ましてや重度の知的障がいを抱える利用者さんの支援に戸惑いを感じることもあります。

言葉が通じず、意思疎通の難しさに折れそうになることもあります。そんな松井さんの気持ちを支え、働く原動力になっているのが、利用者の髪をカットする時間です。

コミュニケーションはうまく取れなくても、利用者さんは髪の手入れを受け入れてくれます。利用者さんが突然頭を動かすこともあります。



感謝の気持ちがうれしい

あり、ドキドキしながら手際よく、髪を仕上げていきます。

「一対一で顔や目を合わせていると、利用者さんも話しやすくなるようで、私も利用者さんの考えていることがわかります。皆がいると言えないことでも、話してくれるようになりました。髪を仕上げたあと、“ありがとうございます”と喜んでもらえると、本当に心が通い合ったようで、うれしくなります。」

## 人と接することが好き!!

趣味はアウトドア。小学6年生の娘と釣りやキャンプ、スキー、スノーボードに出掛け、心身をリフレッシュさせています。



みんな元気にハイ、ポーズ

## 施設管理者から



社会福祉法人 にいかわ苑  
富山型共生の里あさひ  
富山型共生グループホーム双葉  
代表

石丸 真弓さん

富山型共生の里あさひは、認知症の高齢者、知的障がい者のみなさんが同じ敷地内で支え合い、安らぎや生きがいのある生活を送られるように支援する施設です。介護、介護という雰囲気ではなく、一緒に暮らしているような感覚で、みんな毎日を過ごされています。「グループホーム大樹」、「デイサービスまめなけ」、「ケアホームマーヤの家」の3つの施設に加え、今後、身体・知的障がい者向けの通所施設も開設します。

### 社会福祉法人 にいかわ苑 富山型共生の里あさひ

〒939-0722 下新川郡朝日町大家庄705-1

○認知症対応型共同生活介護  
「グループホーム大樹」

○認知症対応型通所介護  
「デイサービスまめなけ」

○障害福祉サービス共同生活介護  
「ケアホームマーヤの家」



作業の進行をやさしく見守る

「私は体を動かすことが好きなので、若い障がい者のみなさんの健康づくりにもスポーツ的なレクリエーションを取り入れることができたらと思っています。」

「障がいを抱える利用者さんには、生活や自立を支援し、これからの長い人生、いろんなことを楽しんでいただきたい。一方、いろんな経験を積んできた高齢者には認知症でも心豊かな生活を維持していただきたいですね。私は美容師という仕事を通して、人と接することが好きになり、福祉の世界に入りました。今後、社会福祉主事の資格も取りたいです。」

家庭的な雰囲気の中で介護や機能訓練を受けることができます。

認知症の高齢者は、すべてを忘れているわけではありません。障がい者を一般の子どもや大人と認識しています。互いの障がいを意識せず、優しい関係を築いています。障がい者は頼られると一生懸命で、やりがいにもつながります。

福祉の世界には、細かなことにこだわらない、おおらかな人が合っていると思います。困難にぶつかっても気をラクにして、柔軟に対処できる人、気負わない人、いつも落ち着いていて、ニコニコとしている人。利用者さんはスタッフの気持ちがすぐにわかります。敏感です。スタッフが元気なら、皆が元気になります。



## サービス業で学び、福祉の世界に入った熱血漢。 座右の銘は「この子らを世の光に」



梨畠が広がる呉羽丘陵の一角に、めひの野園「ウォーム・ワークやぶなみ」のビニールハウス5棟が建っています。中には、清潔感のある花の香りを漂わせる花の鉢がずらりと並び、見ているだけで心が癒されます。春先にはサイネリア、夏はペチュニア、秋にはビオラ、冬はシクラメンなど、季節に応じた花



苗ポットの土入れも慣れた手つきで量もバッチリ

苗を育成。丘陵地ではシーズン中、ジャガイモやトウモロコシなどの野菜も栽培され、花苗とともに直売されます。

「○○さん、今日はここに水をやってください。」「ポットに土を入れてください。」

育苗・農耕・堆肥部門で就労支援にあたる般若敏雄さんが利用者のみなさんとの目を見ながらゆっくりと作業内容を伝えます。この部門で働くのは、10代から60代までの8人の男性利用者さん。知的障がいのなかでも自閉症の方たちです。伝える言葉は、簡単でわかりやすく。思い通りの仕事ができないと、不安定になる原因となるため、利用者さん本人の朝の様子を見ながら、般若さんは作業の段取りを慎重に決めていきます。



利用者のみなさんと一緒に季節の鉢花を育てている

### 構造化された環境の中で

「根気や集中力が並外れた利用者さんも多く、今日の作業はここまでと目標設定してあげることが大切です。そうしないと、ずっとやり続けてしまうこともあるんです。そのため、仕事の内容をわかりやすく伝えることを心掛けています。」

どのような作業をどのくらいやるか、次に何をやるかの見通しを伝えることで、利用者さんの自発性を促します。」これは「自閉症児(者)に対するワークシステムの構築」といわれる支援方法で、般若さんは積極的に取り組んでいます。

「最初、利用者さんの仕事ぶりを見て、なぜこんなに真面目に、一生懸命にできるんだろうと、正直戸惑いがありました。でも接していくうちに、表現の仕方が違うだけで、ほかは健常者と変わらないことに気づきました。私だって精神的にそう強い人間でもありません。将来、障がいを持つかもしれません。なにより、彼らといふと楽しいですね。情が移ってきました。」



大量の鉢花出荷も1個ずつ丁寧に楽しく作業

## ラジオ番組から福祉の世界へ

「利用者さんは、自分が見たことのないプロの技術を見せてくれることに目を輝かせます。作業を指導するためには職員が何を見せられ、何を伝えられるかがポイントです。」めひの野園に勤めて7年。般若さん自身、最初から花や野菜の専門家ではなく、農業高校の元教諭という職歴の同僚から、その技術を一から学びました。現在の仕事に就く前は、複数の職業を経験しています。

般若さんは県内の大学を卒業後、イベントや映像制作を手掛ける会社に就職。ラジオやテレビの番組制作を担当します。「当時、祖母が要介護者だったことから、次第に福祉の仕事に興味を持つようになりました。」2年後、介護福祉士の資格取得を目指し、福祉系の短大への進学を決意します。「学費を工面するため、販売・サービスの業界を経験し、そこで顧客への応対の仕方や礼儀作法、サービスとは何かを徹底的に叩き込まれました。」そして、県内の短大で2年間学んだ後、介護福祉士の資格を取得。「在学中の当直アルバイトが縁で、めひの野園に就職しました。」

「福祉といえば、高齢者の食事や入浴、排泄の介助などのイメージが強く、短大で高齢者の介護を学んだ私も障がい者の職場で働き始めて、福祉の世界でもまったく分野が違うことを実感しました。でも選んだ道は間違いではなかったと思っています。」

## 品質のいいものを栽培・販売し、利用者さんに還元

般若さんは、利用者さんとともに花苗や野菜の栽培・育成に取り組み、部門全体で目標額を超える売上を達成しています。陽に焼けた爽やかな笑顔で営業活動にも励み、多くの顧客から信頼を獲得。卒業式シーズンには、幼稚園や小学校、中学校などへ1000鉢以上の鉢花を届けます。「自分は当園の利用者さんと花を購入された顧客の2種類のお客様に接しているんです。」

「基本的にはお客様にいかに満足してもらえるかを追求することになるわけです。サービス業で働いたことは無駄ではありませんでした。福祉をサービス業の一環としてどうると、まだまだ伸びシロがあると思います。伸びるために異業種との交流や、外部からの情報が必要。異業種から人材が入ってくることも密度の濃い成長につなが



毎日、多くの来客で賑うアンテナショップ  
「フレンドリーショップ希望」

るのではと考えます。」

目標とする人は“知的障がい者福祉の父”と呼ばれる近江学園・糸賀一雄。座右の銘は『この子らを世の光に』。

「そのためには、みんなで成長していくなければなりません。目標は、鉢花を育てて満足するだけでなく、お客様により品質のよい商品を販売し、それが利用者さんの給料により多く還元されていくこと。将来、年金と給料を合わせて所得が保障されると、もし両親や家族が亡くなったとしても、自立した生活ができます。グループホームが社会に増えることにもつながる。障がい者が地域とコミュニケーションを取りながら生活する。それが本当の共生だと思います。」

将来を真摯に見つめる般若さんと、利用者のみなさんとの鉢花づくりが今日も笑顔で続けられています。

## 施設管理者から



社会福祉法人 めひの野園  
園長 ただす  
**中田 匠さん**

知的障がい者のなかでも、自閉症の方たちを対象にした施設として、昭和57年に開設しました。当時、自閉症の子どもたちは病院に入院するしかなく、まったく行き場のない状態で、当園の入所支援「うさか寮」は国内で2番目の施設でした。現在、自閉症の方たちの特技を見つけ出し、職能支援を行っています。利用者さんは200名を超え、職業種目は食品加工、育苗・野菜栽培、飛騨地鶏生産、菌床しいたけの一貫製造など、20種類以上を

數えます。利用者さんの意向を尊重し、好きな仕事、できることを選んでもらっています。基本的に利用者みなさんに給与の支給を行っています。福祉施設の生産物というだけで購入につながる時代ではありません。本物を生産して販売につなげ、最終的に利用者さんの元により多くの賃金が支払われるようになっていきたいと思っています。

職員採用の面接時には「利用者さんのためにあなたは何ができますか、何を見せられますか」と必ずお聞きしています。福祉の資格だけが採用基準ではありません。あくまで人物本位。利用者さんは職員を見ています。それに応える本物の技術がないといけません。そして、皆が楽しく働くことがとても大切です。

**社会福祉法人 めひの野園  
多機能型(就労継続支援B型・生活介護)  
事業所 ウォーム・ワークやぶなみ**  
〒930-0143 富山市西金屋6682

### <事業内容>

食品加工、石けん製造、育苗、  
野菜栽培、たい肥製造、  
家具製造、委託作業、  
鶏卵生産、飛騨地鶏生産、  
など



めひの野園で栽培の「菌床しいたけ」はスーパーなどで大好評



ケアすることで、以前の輝いている本来の姿に。  
40歳で出会った仕事にやりがいを感じています。



### きっかけは祖母の介護

荒山浩子さんが福祉の世界に入るきっかけになったのは、認知症になった祖母を、母と一緒に介護するためにヘルパー2級の資格を取得したことでした。



笑顔で優しく語りかける

「昼夜逆転や10分おきのトイレの訴えに自分たちも眠れず、疲れ果てました。元気だった祖母の変わりようにショックを受けました。その後、施設へ。認知症による妄想や大声などの周辺症状があるにもかかわらず、職員の方々は祖母に優しい笑顔で接してくださいり、また、家族も前向きになれるような声かけもあって、介護の仕事は素敵な仕事だなと思いました。」と振り返ります。

当時40歳。それまで銀行の仕事を頑張ってきた荒山さん。お客様パートナーとして、一人暮らしの高齢者宅を訪問するたびに、「食事はどうしていらっしゃるんだろう」とふと案じてしまうこともありましたが、祖母の発症前までは、介護の世界は身近ではありませんでした。

その後、祖母の入所が縁で認知症のグループホームに正社員として採用され、仕事に没頭します。家族から「もっと楽な仕事もあるんじゃないの。」と言われるほどでした。やりがいを強く感じ、介護福祉士、社会福祉士、ケアマネージャー、認知症ケア専門士、産業カウンセラーと、多種の資格を取得していきます。現在、「天正寺サポートセンター・認知症対応型通所介護(デイサービス)」で、利用者様の送迎や介護、レクリエーション支援、通所計画書作成、利用者・家族の相談業務、管理者業務などを担当しています。

「学生時代に得た栄養士の資格以外は、すべて40歳からの挑戦。社会福祉士を取



洗髪の後、丁寧にブラッシング

得してからは介護福祉士だけだとわからないことでも、“こんなサービスが受けられます”と、社会福祉士からの視点で利用者様にとってアドバイスができるようになりました。幅広い知識と経験を持ち、個人のニーズに合わせた、よりよいケアをしたいということが、資格取得を目指した理由です。」

## 介護は奥が深くて、やりがいがある

20代、30代で銀行の事務や営業のサポートを経験し、また、多くの資格を持つ荒山さんは、高いコミュニケーション能力を備え、日々の仕事に真摯に向き合っています。日頃心がけていることは、法人の福祉目標にもなっている「まごころのサービス、底なしの親切とよろこび」。今よりもより良い介護の方法、よりよいコミュニケーションを考え、“もっと笑顔”、“もっとやさしさ”、“もっとふれあい”を目指しています。

「誰にでも取り組みやすいことですが、なかなか奥が深いですね。とにかく笑顔で、優しい気持ちで声を掛けましょう、スキンシップを図りましょうと皆で言っています。た



若いスタッフと誕生会を盛り上げる

とえば、歩行運動のときも利用者様一人ひとりに寄り添って会話をしながら思いを聴いています。」

一般的に、年数が経つと、利用者様に対して馴れ馴れしい態度になりがち。家庭的な雰囲気と馴れ合いを勘違いすることがあります。荒山さんは、丁寧な言葉遣いで利用者様に語り掛けています。

## ぜひ自分も利用したい

荒山さんは、「利用者様から励まされたり、教えられ、学んだりしたことも数えきません。初めての夜勤で緊張しているときに、重度の認知症の女性利用者様から“布団に入って一緒に休まれ”と声を掛けられたり、洗濯物を干していると“貸してみられ、わしやってあげっちゃ”と手伝ってもらったり。逆に利用者様から優しくしてもらうことで、心も癒され、仕事を続けてこられた。」と強調します。また、周りのスタッフも優しく、子どもの病気や急な用事で休みたいときもお互い様の精神で助けてくれることが仕事の支えになっています。

「高校生の娘が職場を見ているうちに、看護師さんになりたいと言っているんですよ。私も認知症上級ケア専門士の資格に挑戦しようと思っています。認知症によって

はいろんな周辺症状が出現する場合もあり、家族は疲れきってしまいます。通所介護を利用していただき、チームで適切なケアをすることによって、自信を取り戻し以前の輝いている状態に戻られます。そして、ご家族にも笑顔が戻ってきます。その姿を見ると、私たち職員もうれしくなります。利用者様の出来ることや良いところを引き出せるように支援することにやりがいを感じます。私も介護が必要になったときは、ぜひこの事業所にお世話になりたいと思っています。利用者様と廊下を歩行運動しながら、“いつまでここを利用させてもらえるが?”と聞かれて、“○○さんが100歳過ぎてもず～っと。そのときは私も一緒に利用しているかもしれません。友達になってくださいね”と話しています。」



災害などに対応できる畳敷きの廊下

## 施設管理者から



社会福祉法人 射水万葉会  
天正寺サポートセンター  
センター長  
**宮垣 早苗さん**

県内で初めて、夜間対応型訪問介護サービス(22:00～7:00)を提供しています。事前登録し、テレビ電話機をご自宅に設置していただくと、センターとつながります。テレビ電話によるオペレーションで、夜間相談を受け付けます。緊急時にはヘルパーがご自宅を訪問。搬送の手配も行います。また、定期巡回サービスとしてケアプランに定められた時間にご自宅を訪問し、介

護・介助を行っています。オペレーターは、社会福祉士、介護福祉士など有資格者が担当しています。センターは、地震などの災害時には、被災者の方々に休んでもらえるよう、廊下などが畳敷きになっています。「この施設があるから安心して歳がとれるよ」と、地域の方に言っていただけるような施設になっていけたらと思います。

求める人材は、皆と一緒に質の高いサービスを提供しようと、率先して働いてくださる方。射水万葉会では、先輩職員がマンツーマンで新人を1年間指導するエルダー制度を採用していますから、経験のない方でも安心です。福祉の仕事を一生の仕事として頑張っていきましょう。

## 社会福祉法人 射水万葉会 天正寺サポートセンター

〒930-0955 富山市天正寺484-1

- 小規模多機能型居宅介護
- 認知症対応型共同生活介護
- 認知症対応型通所介護
- 夜間対応型訪問介護サービス
- 居宅介護支援事業所
- 配食サービス
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

※小規模多機能型居宅介護では、泊まり、通い、訪問を必要に応じて、また365日・24時間、年中無休でサービスを提供。



## 日々の生活に寄り添いながら、体調を管理。 “見て護る”ことの大切さを感じています。



金田歩さんが准看護師として働く老人保健施設「あかり苑」は、病院での治療を終え、自宅へ戻るための施設。安定期や慢性期に入り、治療は必要ありませんが、看護や介護を必要とする高齢者などを対象にしています。金田さんの仕事は利用者さんの体調面を管理し看護すること。

「ここでは利用者さんの生活ぶり、体調を見ながら異常をキャッチすることが大事。日頃の状態を観察する力が必要です。」

### 観察力で病気のサインを見逃さず

近年、「あかり苑」では認知症の利用者さんが増えています。リハビリで認知症状を

軽減する方法を取っているため、介護士や体調を管理する看護師の役割が重要になってきています。

「認知症の方はお腹が痛くてもはつきりと訴えられないことが多いです。排便日やお腹の張り具合などをチェックし、事前に気づいてあげることが看護師の仕事。体調の悪さは他に原因があるのかもしれません。サインを見逃さず、じっくり話を聞くことで回復につなげます。」

利用者さんは、金田さんの笑顔を見ると次々にうれしいことや不安を話します。一緒に考え、対応してくれる人を本能的に求めています。

「気分が落ち込んでいた利用者さんが、



食欲どうですか?と笑顔でおはなし

私と話することで元気になると、私もうれしい。明日も頑張れるというエネルギーになります。“看護”とは“見て護る”という意味。この施設は、その言葉がぴったりだと思います。利用者さんを観察、見て護ることの大切さを再認識しています。」

## 医療事務から准看護師へ

金田さんは結婚して長男を出産後、当時勤務していた産婦人科医院の勧めもあり、30歳を過ぎてから准看護師の資格取得に挑戦しました。午前中は窓口の受付業務や医療事務の仕事をこなし、午後から学校に通い、夕方、保育園に預けていた子どもを迎えて行った後、再び仕事という毎日が2年間続きました。そして、ようやく資格を手に、この医院で看護職として働くことを思った矢先に閉院。その後、登録したナースバンクから「あかり苑」を紹介されました。

「面接時に現場での経験がないことを話したところ、八田主任から徐々にできるようになりますからと勇気づけられ、就職を決めました。」

## こころの壁

最初の壁となったのが、利用者さんの口から喉へ吸引パイプを入れて痰を取ることでした。

「思うようにできないことを隠したい自分がいて、先輩の看護師に教えてとも言えず、慣れるまで苦しみながら仕事をしていました。その日の夜に利用者さんが体調を崩していないか、仕事が終わり帰宅してからも心配でした。」

あかり苑では、呼吸停止など利用者さんの体調の急変に対して適切な初動対応が求められます。

「緊急時、何かしなくてはいけないと、師長や同僚の横でうろうろするばかり。冷や汗が出て、まったく動けず、自己嫌悪に陥ったことが何度もありました。これでは利用者さんに迷惑がかかると思い、わからないことはすぐに聞くようになりました。」

## スタッフの思いやりやサポート

「経験を積ませるため、師長はナースコールがあると私一人に向かわせます。」



高齢者の歩行訓練のお手伝い



託児室「まんま・ぐらんま」で過ごす職員の子どもたち

なかなか戻ってこないと、師長が様子を見に来て、アドバイスしてくださいます。これまで続けてこられたのも他のスタッフの思いやり、サポートのおかげです。」

## 命のリレー

金田さんが「あかり苑」で勤め始めた頃、下の長女はまだ生後3ヶ月でしたが、医療



利用者のみなさんと談笑しながら健康状態を確認

法人社団寿山会で併設している託児室「まんま・ぐらんま」に娘を預け、子育てと仕事を両立させてきました。

「託児室で授乳したりと、母乳で育てることができてよかったです。出勤・退勤時に合わせて預かってもらえたので、他人に預けているという気持ちはありませんでした。しっかり保育してもらって、仕事に集中できることができました。」

職場では、利用者さんを看取るという体験もありました。自宅で子どもの顔を眺めていると、かつて命の誕生に関わる仕事を経験したこともあり、「命の尊さ」、「命のリレー」を考えさせられます。目標す職員像は、利用者さんから“あなたがそばにいてくれてよかった”と思ってもらえるような職員。そうあり続けたいですね。」

## 施設管理者から



医療法人社団 寿山会  
老人保健施設あかり苑  
事務主任  
**八田 葉子さん**

あかり苑は、注射や点滴は必要ないが、病院での治療を終えてすぐに自宅で元の生活を始めるのは難しいといった方にご利用いただいている。日常的な看護や介護、機能訓練によって家庭に復帰していただくための施設です。

高齢者や認知症に関係なく、一生懸命に全力でお世話をしています。大切にしたいことは、人生の終焉のときです。人の声を聞きながら、人に囲まれて終焉のときを迎えてもらうのがいいの

ではないかと思っています。スタッフはそのためには最善を尽くしてお世話をしています。

看護と介護の世界は、女性の力が大きな役割を果たしていると考えます。医学の進歩とはあまり関係ないと思います。母性本能からの見守りが必要です。

人は本来、人を見る能力、人の世話をする能力は備わっています。その力を活かした仕事をしてみませんか。笑顔が可愛い人、その笑顔に利用者さんは癒されます。看護や介護の区別なく、これらの業務に携わったのであれば、生涯の仕事としているように学んでほしいと思います。あかり苑では、スキルアップのための協力を惜しません。

**医療法人社団 寿山会  
老人保健施設あかり苑**

〒939-1377 砺波市寿町2-38

- 入所・短期入所(ショートステイ)・通所(デイケア)
- あかり苑居宅介護支援センター
- グループホーム すまいる



## 調整力、コーディネート力で人と人をつなぐ。 「ありがとう」がなによりうれしい言葉。



### 人生に深く関わる仕事

目の前に広がる富山湾を眺めながらくつろぐご利用者に「おはようございます。体調はいかがですか」と笑顔で声を掛ける政二恵子さん。生活相談員として、ご利用者一人ひとりに目を配り、生活の質の向上に努める毎日です。

「生活相談員の仕事は、ご本人・ご家族との面談から始まります。どのように生活していただきか、その方の今後の人生に深く関わることになるので、特に気を遣います。入所が決まると、サービスに生かすため、ご本人の生活習慣、職歴、性格、趣味などの情報をご家族からお聞きします」

政二さんは、ご利用者の生活を第一に

考え、ご利用者と周囲の環境との調整役、コーディネーター役を務めています。介護福祉士、看護師ら現場と連絡を取りながら、健康状態やケアの状況を把握。外部の医療、福祉の関係機関と施設をつなぐ窓口の役割も担っています。

### 大切な歴史

大学や専門学校で資格を取り、すぐに調整力が発揮できるかといえば、そうではありません。社会経験を積み、人の心に触れることが必要です。政二さんは、大学卒業後、大阪の建築設計会社に就職。不動産部門の営業として働き始めますが、ほどなく、父親が病気で倒れ、将来の介護に備えてUターン。自分に合った仕事を探すために

富山市内の人材派遣会社に再就職し、管理部門に配属されます。人を求める企業と職を求める人をつなぐ仕事をこなしながら経験を積み、調整力を養いました。



「お手伝いありがとうございます」と笑顔で声掛け



会話を通じて調子や具合を見る

## 家族介護

転機が訪れたのは、人材派遣会社で4年ほど経った頃。家族の介護に備え、ヘルパー2級を取得したのです。実は、政二さんにとって介護は幼い頃から目にしてきた身近な事でした。

「小学生の頃、祖母が脳梗塞で倒れ、認知症も発症しました。当時、山間のどこの家でもそうだったと思うのですが、自宅で寝かせておくしかありませんでした。床擦れがひどかったです。母親は働きながらも懸命に介護し、雪の日に冷たい川でおむつの洗濯をする母に傘を差し出したこと今も思い出します。また、派遣会社にいたときは、自立型の介護施設に入所している祖母の妹を買物に連れて行ったり、受診の付き添いもしました。そんな経験もあり、福祉の仕事に興味と魅力を感じました。」

## 連絡には最善を

あんどの里に入職後、まずご利用者の生活の現場で3年ほど介護の職に就きながら介護福祉士、そして通信講座で社会福祉士主任用資格を取得し、現在、生活相談員として頑張っています。

施設の中では、ケアマネージャー、介護福祉士、看護師、理学療法士ら、大勢の職員が働いています。ご利用者の情報を確実に伝え、共有してもらうことが生活相談員の大きな仕事です。たとえば、リハビリの予定、医療機関への入院・退院などについての連絡漏れがあると、各所に迷惑がかかります。

「最終的にはご利用者に迷惑をかけることになります。予定を聞いていない、と現場から叱られたこともありました。スタッフと連絡を密に取り、スケジュールを調整するなどしながら、チーム力、チームケアでなんとか乗り越えてきました。そんなときに活かされているのが、一般企業の営業、人材派

遣の管理部門での経験です。人への接し方、思いやり、言葉遣い、連絡の大切さなど、勉強したことは数知れません。遠回りしたのは悪いことではなかったと思います。たとえば、こちらの話し方や言葉遣いの違いだけでも、相手からの返答は違ってきます。こちらから“こうしましょう”というのではなく、相手の立場を尊重して“どうでしょうか”と投げかけてみる。話し合う皆が納得して、全体の方向性がより良い着地点に辿りつけるように進めること、話のタイミングをはかること、どれも経験を積まないとなかなか出来ないことですね。」

## 看取りが人生の意義を教えてくれる

「かつて自分が育った地域では住み慣れた自宅で、老衰により自然な最期を迎え



ご利用者とご家族、施設と関係各所をつなぐ

## 施設管理者から



社会福祉法人 海望福祉会  
理事 総合施設長  
**大崎 雅子さん**

「ありがとう」と「ほほ笑み」を法人理念に、高齢者の方のこれから大切な時間を心豊かに過ごせるように福祉・介護サービスを提供しています。近年、自然に人生の終焉を迎えるご本人とご家族が増えています。介護だけでなく、人生の総仕上げまで、ご家族に満足いただいて、一緒にお見送りできれば、「お看取り」に取り組んでいます。「お看取り」には高い



職員がお互いに協力しあうチームの和

ることが多かった。しかし、今は医療の発達とともに、病院で亡くなることが普通になっています。あんどの里では平成20年度より看取り介護の取り組みを始め、政二さんもこれまでに10名を見送りました。

「お看取りは、“人生や死にどんな意義があるのか”をご利用者が最後の力を振り絞って教えてくださることだと思います。ご家族に“お世話くださいって、ありがとう”と言われると、尊い仕事に関わさせていただいていることを深く感じます。」

## ありがとうの言葉とチームの和

「福祉の世界に入ってまだ5年。困難に直面することもあると思います。ご利用者の“ありがとう”的言葉とチームの和に支えられて、これからも頑張っていきます。」

介護力や、医療とのコーディネート、往診してください医師などの調整も必要です。ご家族のいろんな要望に対し、生活相談員が主になってコーディネートしますが、高いソーシャルワークの力をもった優秀な人材も必要です。

福祉の世界ではまず人が好きということが大切です。人に喜んでもらえることが自分の喜びだと感じられる人、素直で継続力のある方、多少不器用でも根気強く、誠実な方……いろんなタイプの職員があれば、相乗効果も出てきます。あんどの里では、いろんな個性があって年齢、キャリアも様々です。皆さんのに期待しています。

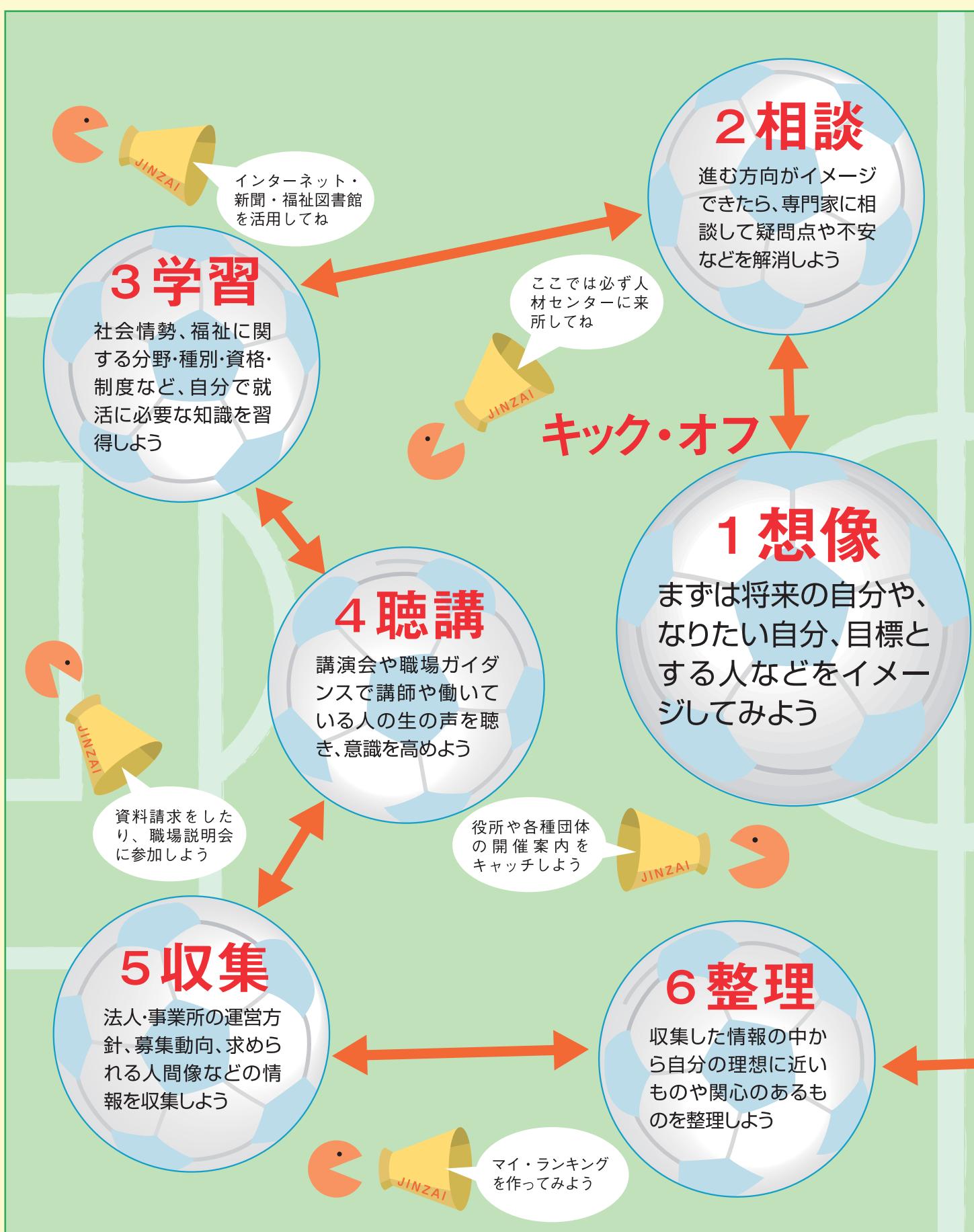
## 社会福祉法人 海望福祉会 特別養護老人ホーム あんどの里

〒937-0061 魚津市仏田3468

- デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所
- 障害者支援施設 ひざき

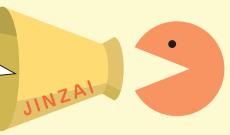


# 未来をめざす「11」のポイント



さあ、今度はあなたが物語の主役となる番です。  
未来のかがやくあなたをめざし、その第一歩がここから始まります。

前に進むだけではなく、一旦戻ることも大切です



## 10 挑戦

試験をチャンスをとらえ、失敗を恐れず、狙いを定めて果敢にチャレンジしよう

“どうぞ私を見てください～”の気持ちで、笑顔も忘れないで～

JINZAI

## 9 練習

自己PR、志望理由、就職してどんな仕事をしたいかなど、自分の言葉で文章にして練習しよう

とにかく大きな声ではっきりと

## 11 確認

ついにたどりついた内定ですが、本当に働きたい職場なのか、自分に合っているのか、もう一度確認してみましょう

ゴール!!

## 8 探究

求人票から種別・仕事の内容、勤務時間、給料、社会保険などを確認して、納得できるまで探してみよう

ホームページ  
「福祉のお仕事」  
が有効です

## 7 観察

ボランティア活動・見学・職場体験などで職場の雰囲気や働いている人の動きなどを観察しよう

自分の適性を知ろう

JINZAI



# 富山県健康・福祉人材センターは、就活の心強いサポーターです。

福祉の職場に就職したい

事業所の採用担当者の話を聞いて比較検討したい

## サポート その1 **無料職業紹介**

求人事業所と求職者の方を登録して、求人・求職者情報の提供、見学・面接の日程調整、各種の相談を行います。

JINZAI

## サポート その2 **職場説明会**

事業所と求職者が一堂に会し、管理者などから仕事について説明を聞くことのできる機会を設けています。

JINZAI

家の近くにどんな事業所があるのか知りたい

必要とされている職員数、選考時のポイント、人材育成について知りたい

## サポート その5 **事業所一覧**

県内事業所の所在地等の情報を分野別・市町村別に分類・整理して情報提供しています。

JINZAI

## サポート その6 **調査研究**

県内民間事業所の職員数・資格取得者数・必要人数などの調査結果をとりまとめた報告書を発行しています。

JINZAI

「福祉分野に転職したい！」  
「仕事の内容や資格について知りたい！」  
「どんな人が求められているの？」  
「果たして自分に勤まるのかしら？」  
そんなあなたにお応えし、全力でサポートします。

向いている仕  
事かどうか自  
分の目で確か  
めたい

働くことの意  
義について理  
解したり、同  
じ悩みを分か  
ち合いたい

### サポート その3 **職場体験**

未経験の方を対象に、実際に事  
業所へ出向いて職場の雰囲気や  
自分の適性を知る機会を設けて  
います。

JINZAI

### サポート その4 **セミナー・交流会**

講演やグループワークを通じ  
て、就職したい方への意識づけ  
や就職して3年未満の方が仲間  
づくりのできる機会を設けてい  
ます。

JINZAI

福祉の仕事の  
魅力って何で  
すか？

### サポート その7 **イメージアップ**

「介護の日」(11/11)「介護ふ  
れあい交流事業」「高校生への  
ガイダンス」など、やりがいや  
魅力について発信しています。

JINZAI

当センターは、社会福祉法にもとづき、多様化する  
福祉ニーズに応え、利用者本位のサービス提供の実現を  
推進するため、富山県知事の指定を受けて富山県社会  
福祉協議会に設置されています。

また、無料職業紹介事業については、職業安定法に  
もとづき、厚生労働大臣の許可(許可番号 16-M-010005)  
を得て実施しています。





社会福祉法人 富山県社会福祉協議会

## 富山県健康・福祉人材センター

(無料職業紹介事業許可番号 16-ム-010005)

〒930-0094 富山県富山市安住町5番21号

富山県総合福祉会館(サンシップとやま)2階

**TEL:076-432-6156 FAX:076-432-6532**

E-mail [jinzai-center@wel.pref.toyama.jp](mailto:jinzai-center@wel.pref.toyama.jp)



**P** 141台  
(身障者用28台含む)

►相談受付時間  
平日:月曜～金曜

**9:00～12:00**

**13:00～17:00**

土・日・祝日は閲覧・登録のみ  
可。後日、電話にて相談をお受けします。

### ■パソコン版



■モバイル(携帯電話)版 ケイタイはこちら→

